2025年度大会 競技要綱

長野県勤労者体育大会実行委員会

1. 野球の部

(1) 本大会の競技規則は2025年公認野球規則及び大会要綱による。

※ 但し、本大会では「DH制」を適用しない。

(2) チーム登録人数は監督を含めて20名とする。但し、監督は選手を兼ねることがきる。

(3) 試合はトーナメント戦とし、ゲームは7回戦で行う。

(4) 試合開始1時間30分を経過した場合は新しいイニングに入らない。同点の場合は同一ポジションのジャンケンで勝敗を決める。但し、決勝戦のみ時間制限を設けず、同点の場合はタイブレーク方式を採用する。(ノーアウト満塁とし、打順は前イニングからの継続打順)

(5) 得点差によるコールドゲームは、5回以降7点差とする。決勝戦も同様とする。

(6) ユニホームは同意匠を原則とする。但し、事前に実行委員会が認めた場合、主将会議で報告する。背番号は監督30番、主将10番とし、00番を除く二桁の番号とする。

(7) 安全上、打者・捕手はヘルメットを着用すること。(ベースコーチにおいても着用が望ましい)

(8) 使用球は「マルエス・M球ボール」とする。

(9) メンバー交換・攻守決定は、第一試合は試合開始30分前、第二試合以降は、前試合の4回終了もしくは前試合開始1時間後に行う。

(10) 次の試合の各チームはメンバー交換後、ブルペンの使用ができる。(先発投手のみ)

(11) ベンチは組合せ番号の若いチームが1塁側とする。

(12) 出場チームは、試合開始予定時間の30分前までに会場に集合し待機していること。

(13) ファールボールの処理については、

① 捕手後方のボールは、次打者が回収すること。

② 一塁側・三塁側のボールについては、各ベンチ側の責任で回収すること。

③ ①、②項とも回収ボールは本部側に返球すること。

(14) 出場チームは、本部の指示に従い、速やかな試合進行に努めること。

(注) ①オリンピックスタジアムでの練習は、必ず指定の「屋内練習場」で行うこと。

球場の廻りでの練習は厳禁です。

②オリンピックスタジアムの通路は、スパイク厳禁です。必ず運動靴に履き替えること。

2. バドミントン(ミックスダブルス)の部

(1) 競技規則は現行日本バドミントン協会競技規則による。

(2) 競技はチーム対抗の団体戦とする。ミックスダブルス3組とし、チーム編成は監督1名(選手兼可)、選手6名以上8名以下とする。但し、チームの事情により選手が4名以上なら1組を不戦敗として参加を認める。また、2試合までの重複出場を認める。重複出場の場合は試合開始前に3試合行うことを宣言するものとする。

(3) 競技方法はトーナメント戦とするが、出場チーム数の状況によってはリーグ戦や敗者復活戦を行う場合もある。なお、トーナメントの場合は1回戦のみ全試合を行う。

(4) 原則として出場チームは「単組単位」又は「事業所単位」とするが、地区の事情によって「単組」・「事業所」の枠を越えた「地区単位」のチーム編成をすることができる。

(5) 服装は白を原則とし、色つきの着衣については日本バドミントン協会公認のものとする。

(6) 使用シャトル(試合球)は日本バドミントン協会公認の検定シャトルとする。

(7) 審判は対戦同士及び敗者審判制とする（細部は主将会議）。

3. テニス(ミックスダブルス)の部

(1) 競技規則は2025年(財)日本テニス協会規則による。

(2) 競技はチーム対抗の団体戦とする。ミックスダブルス3組とし、チーム編成は監督1名(選手兼可)、選手6名以上8名以下とする。但し、チームの事情により選手が4名以上なら1組を不戦敗として参加を認める。また、2試合までの重複出場を認める。重複出場の場合は試合開始前に3試合行うことを宣言するものとする。

(3) 2組勝ったチームを勝者とする。

(4) 競技はトーナメント戦とし、ゲームは原則として1セットマッチ(6ゲームオール、12ポイントタイブレイク)で、初回戦のみ全試合を行う。また、天候により変更する場合がある。ただし、出場チーム数の状況により、リーグ戦や敗者復活戦を行う場合もある。

(5) 原則として出場チームは「単組単位」又は「事業所単位」とするが、地区の事情によって「単組」「事業所」の枠を越えた「地区単位」のチーム編成をすることができる。

(6) 試合はセルフジャッジとする。

(7) 出場選手はテニスウェアを着用すること。但し、Tシャツは不可。

(8) 使用球は「ダンロップフォート・イエロー」とする。

(9) ウォーミングアップは初回戦のみ3分間以内(厳守)とし、以降はサーブのみ左右2本ずつとする。

(10) 出場チームは、本部：レフェリーの指示に従い、速やかな試合進行に努めること。

(注) 全試合とも、セミノーアドバンテージ・スコアリング方式とする。